



2007年5月、ハイドパークにて ©Alpha/amanaimages

1986年7月、ハイグローブ・ハウスにて ©Tim Graham/ Tim Graham/Corbis



1988年、空港で歓迎する人たちに挨拶 ©CORBIS

1989年9月、ヘンリー王子初登校 ©Tim Graham/CORBIS



ふつう (normal)。これこそダイアナ妃が、ふつうではない身分に生まれたふたりの息子たちに教え込んできた基準にほかならない。

ダイアナ妃が好きだったテランデラン、ロッド・スチュワートから英国立バレエ団、ふたりの王子のお気に入りのリリー・アレン、ネリー・ファータドにいたるまでの多彩なアーティストのパフォーマンス、さらにデイヴィッド・ベッカムのサブライズ出演やトニー・ブレア前首相のビデオメッセージと、英国有名人を総動員したコンサートは天成功を収めた。「このイベントは、音楽、ダンス、チャリティ、家族、そして友人たちという、母が人生のなかで愛したことをすべてにかかわるものです」とウィリアムは聴衆

ダイアナ妃が残したふたりの王子が計画した母の追悼コンサート  
ダイアナ妃の46回目の誕生日になるはずだった今年の7月1日、新生ウェンブリー・スタジアムで開かれたダイアナ妃追悼チャリティコンサートに、6万3千人が詰めかけた。  
計画したのはウィリアム、ヘンリーのふたりの王子。イングランドサッカー協会の総裁もつとめるウィリアムは、5月に同スタジアムでおこなわれたFAカップ決勝戦ではスリッパ姿だったが、この日はジーンズにジャケット、カジユアルシャツという驚くほどくつろいだスタイル。ヘンリーも同様の、チノパンにジャケット。英国王室の王位継承順位第2位、第3位という身分と、いまどきのふつうの青年といった装いとギャップがうれしく意表をつく(彼らのパパ、チャールズ皇太子のこんなスタイルは見たことがない)。  
ダイアナ妃が好きだったテランデラン、ロッド・スチュワートから英国立バレエ団、ふたりの王子のお気に入りのリリー・アレン、ネリー・ファータドにいたるまでの多彩なアーティストのパフォーマンス、さらにデイヴィッド・ベッカムのサブライズ出演やトニー・ブレア前首相のビデオメッセージと、英国有名人を総動員したコンサートは天成功を収めた。「このイベントは、音楽、ダンス、チャリティ、家族、そして友人たちという、母が人生のなかで愛したことをすべてにかかわるものです」とウィリアムは聴衆

今なお輝き続けるプリンセス  
Legend of Princess Diana  
ダイアナ妃  
という伝説  
Text: KAORI NAKANO

vol.2  
ふたりの王子について

Two Princes

この夏、没後10年を迎えるダイアナ妃。その鮮烈な存在感は、今もなお薄れることはありません。この連載では、イギリスの文化に通じたエッセイストの中野香織さんがダイアナ妃の思い出を振り返りつつ、その魅力を現在の視点から分析してゆきます。今月のテーマは、日本のマスコミでもたびたび取り上げられる、ふたりの王子についてです。



1985年5月、ヴェニスにて ©Tim Graham/CORBIS

文・中野香織

なかの・かおり ●エッセイスト・服飾史家。1962年生まれ。東京大学文学部および教養学部卒業。東京大学大学院総合文化研究科博士課程単位取得。イギリスのケンブリッジ大学客員研究員などを経て文筆業に。イギリスとその文化にも詳しい。連載記事は日本経済新聞、朝日新聞ほか多数。近著は『着るものがない』『モードの方程式』(共に新潮社刊)など。訳書も多数手がけている



©INFphoto/amanaimages



©Alpha/amanaimages

ふつうの装いのウィリアムとヘンリーからは、母思いで仲間を大切に、ふつうの青年の善良な魅力があふれ出ていた

## Concert for DIANA 2007

ダイアナ妃追悼  
チャリティコンサート

2007年7月1日、この春に改装を終えたウェンブリー・スタジアムにて開催。6時間にわたるコンサートは、エルトン・ジョンの『Your Song (僕の歌は君の歌)』で開演。ブライアン・フェリー、ステイタス・クォー、ザ・フィーリング、オルソン、英国立バレエ団など、そうそうたるアーティストたちが無償で参加した。コンサートの模様は145カ国で放映され、その収益は元妃関係の慈善団体に寄付される。



©INFphoto/amanaimages

に語る。陸軍での訓練をしのばせる日焼け顔のヘンリーは、イラクで戦う仲間たちにラジオを通じてメッセージを送る。「君たちと一緒に戦えなくてごめん。今この瞬間も任務についているみんな、どうか無事でいてくれ」。イラクでヘンリーの部隊が攻撃の標的にされる危険が現実味を帯びたため、直前にヘンリーの派遣がとりやめられていたのだ。人々に語りかけたり踊ったり、ウチーブに参加してはしゃいだりする、ふつうの装いのウィリアムとヘンリーからは、母思いで仲間を大切に、ふつうの青年の善良な魅力があふれ出ていた。

### ふつうではない身分の息子たちに母ダイアナが残したもの

王室の伝統を破り、ダイアナ妃は子どもたちを母乳で育て、できるだけ抱っこし、ともに過ごす時間をたっぷりとった。マクドナルドでハンバーガーを食べ、デイズ・ランドで遊ぶという、ふつうの子どもの休日の過ごし方を経験させたばかりでなく、チャールズ皇太子の反対を押し切って、ホームレスの収容施設を見学させ、一緒にエイズ患者を見舞った。こうして社会のさまざまな面を母から教えられ、多くの人々と接するなかで豊かなコミュニケーション能力も身につけたふたりは、6月、NBCのインタビューに答えて、「ふつう」に対するこんな考えを話している。

「ヘンリー」はくちがこうしてふつうにやろうとしていることに対しては、母は喜ぶと思います。でも他人がそんなほくちたちを見て、へおい、お前たちはふつうじゃないんだからふつうにしようとするなんてやめろよと言ったりすることは悲しむかな。…だけど、プライベートなどではできるだけふつうにしたい

と思っています。もちろんある意味ではほくらにふつうなんてありえないから、難しいのですが」

ウィリアム「おまえはたしかにふつうじゃないかもしれないけど、笑、ほくはいったってふつうだよ」

やんちゃなヘンリーが麻薬を試してみたり、コスプレパーティーでナチの格好をしたりしてタブロイドの格好のネタになった過去は、このひとりで笑いとはされた。ヘンリーの率直さ、ウィリアムのユーモアのセンス、そして絶対の信頼で結ばれた兄弟と母の絆には、多くの視聴者から感動のコメントが寄せられた。ふつうじゃない身分に生まれたプリンセスたちが、父の不倫、両親の離婚、母の事故死、父の再婚、母の暴露本の相次ぐ出版…という、ふつうじゃない過酷な運命をグレることなく乗り越えてきた強さの秘密は何なのか？ ウィリアムによれば「強かった母が、強さの貯蔵庫をほくらに与えてくれました」。

### 連日のテロ騒ぎにも負けず集まった英国国民の真の思いとは？

追悼コンサートは、前々日、前日の爆弾カー炎上騒ぎで、厳戒態勢のもとにおこなわれた。英国の有名人が一堂に集う会場は、テロの危険が高い場所だった。にもかかわらず、観客は「ここは今日、英国でいちばん安全な場所だよ」とジョークを飛ばしてやってきた。25歳のウィリアムと22歳のヘンリーに人々が重ねて見ているのは、母の棺の後ろを涙をこらえて健気に歩く、15歳のウィリアムと12歳のヘンリーの面影である。コンサートを成功させたのは、あの「ダイアナの息子たち」の心意気をなんとかして支援するという、ほとんど母性愛にも似た英国国民の強い思いだったのではないかと「よくやったボーイズ」の賛辞の嵐のなか、母ダイアナ妃は人々の心のなかでいちだんと輝きを増した。